

小山地区防災工事について

国道246号 駿東郡小山町生土の道路隣接斜面において斜面对策工事を行いました。

対策前の斜面は、長い時間をかけて表面の岩盤が脆くなっており、将来的に落石や崩落が懸念されるものでした。

本工事において斜面全体をコンクリート枠で覆い、またボルトで脆い岩盤を地中の固い岩盤に縫いつけたり、落石防止ネットを設置する等により、斜面の安全度を高めました。

対策前



対策後



対策面積 約1,200m³



対策面積 約900m³

国道246号の小山町生土（神奈川県境）から小山町棚頭までの約6.2km区間は「事前規制区間」となっています。この「事前規制区間」とは、地形地質を原因とした災害が生じやすい国道上の区間において、一定の雨量等をもって、災害が生じる事前に道路利用者の安全を確保するため通行止めの規制を行う区間のことをいいます。

国道246号のこの区間は、現在、250mmの連続した降雨により通行止めをすることとなっており、その際の道路利用者の被災は防止できるものの、通行止めにより区間の流通を寸断してしまい、社会的影響は大きくなっています。

本工事の実施により、事前規制区間の安全性が高まったことで、事前規制の解除に繋がっていくもので、規制解除の際には国道246号の利便性が向上します。